

Bio-Psycho-Social model

~全体は部分の総和と異なる~

名古屋大学総合診療科

松久 貴晴

今日の内容

- ①BPSモデルって？
- ②システム階層モデル
- ③医療人の役目
- ④ポートフォリオについて
- ⑤いい点を取る方法



目標)①~④の内容を理解し説明できる
⑤を実践できる

例題 84歳 女性

[現病歴]

30年前に糖尿病指摘され、インスリン注射を使用し、当院通院中。

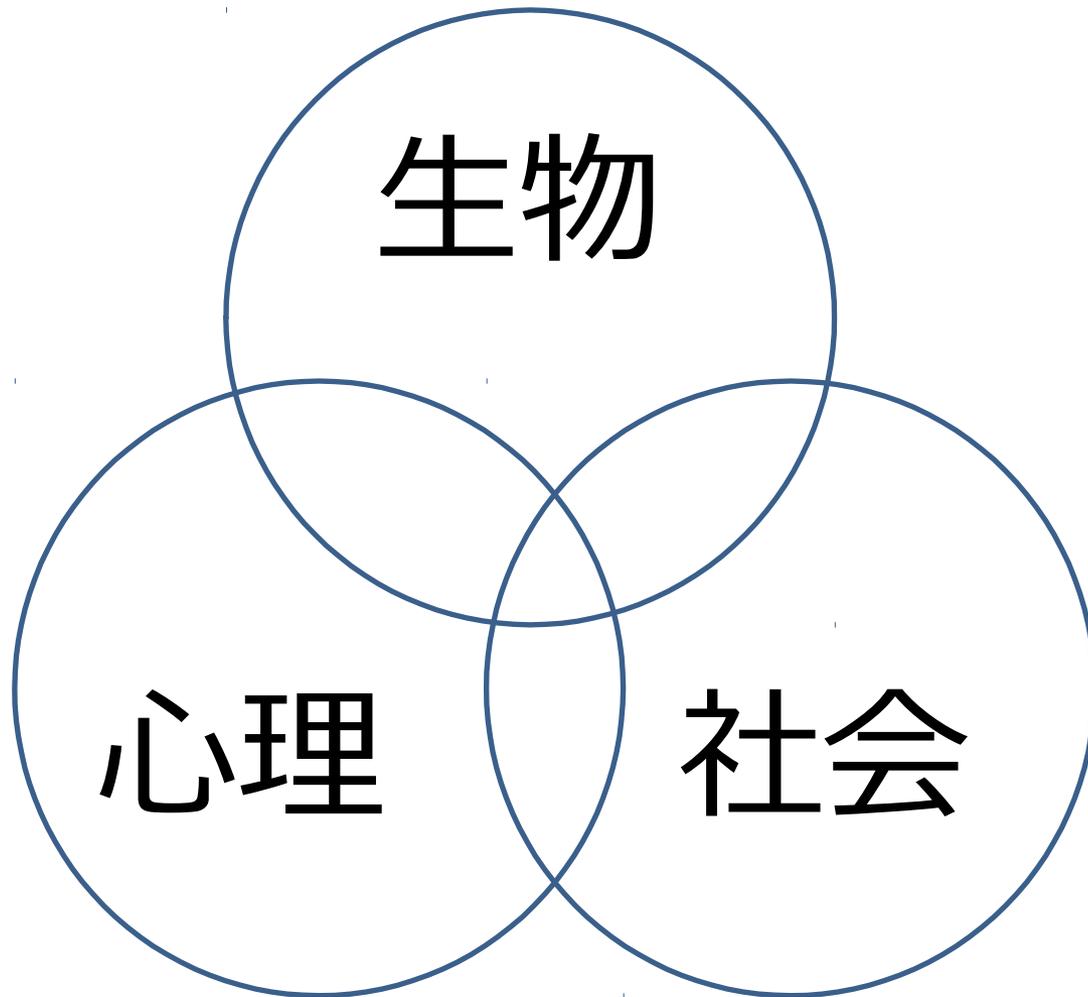
昨日より発熱、呼吸苦あり、本日救急搬送され、誤嚥性肺炎と診断。

昨年夫が他界し現在独居。もともとのADLは、何とか自立しており、介護保険の利用無し。付き添いの遠方に住む娘からは、“最近昔のように家から外出することが少ない”

BPSモデルを使用し アプローチしてください

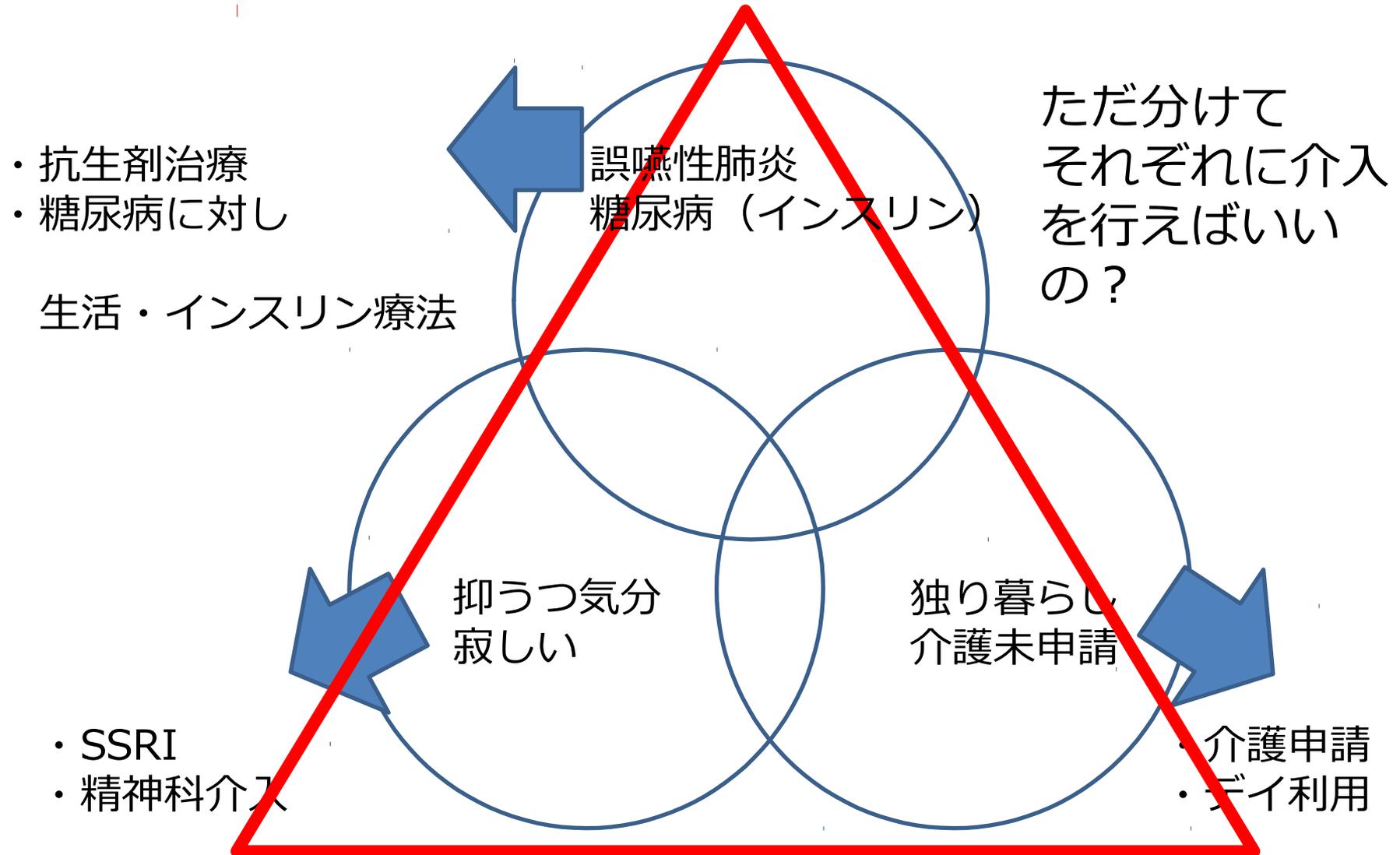
BPS model

~よくあるポートフォリオ~



BPS model

~よくあるポートフォリオ~



WHO憲章 (1946年)

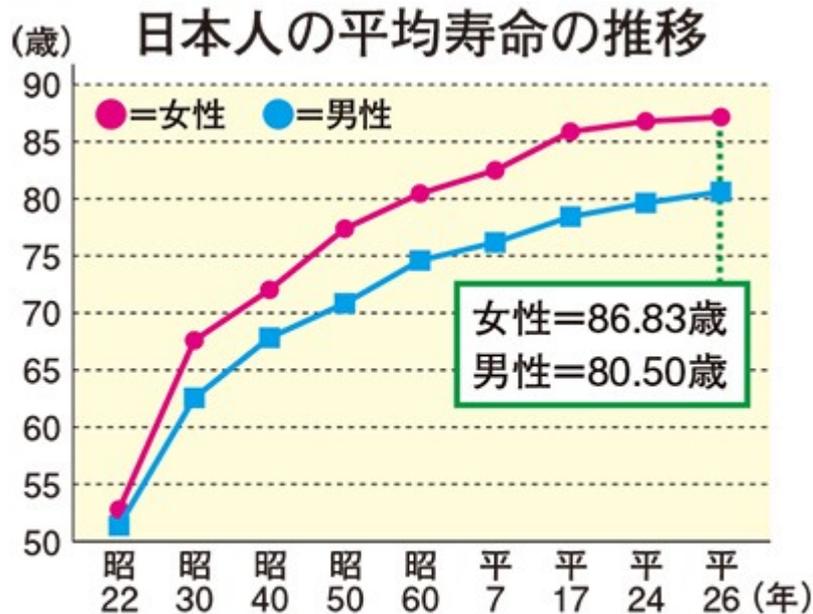
"Health is a state of complete physical, mental and social well - being and not merely the absence of disease or infirmity."

WHO憲章(1946年)

『健康とは完全に、**身体**、**精神**、**霊的**、**社会的**によい状態であることを意味し、単に病気ではないとか、虚弱でないということではない』

この時代からBPSは健康の定義に含まれていました。

時は流れ・・・



(出典)厚生労働省
「平成26年簡易生命表の概況」より作図

- 戦後、医療の専門化
- 臓器別の医療

生物医学モデル

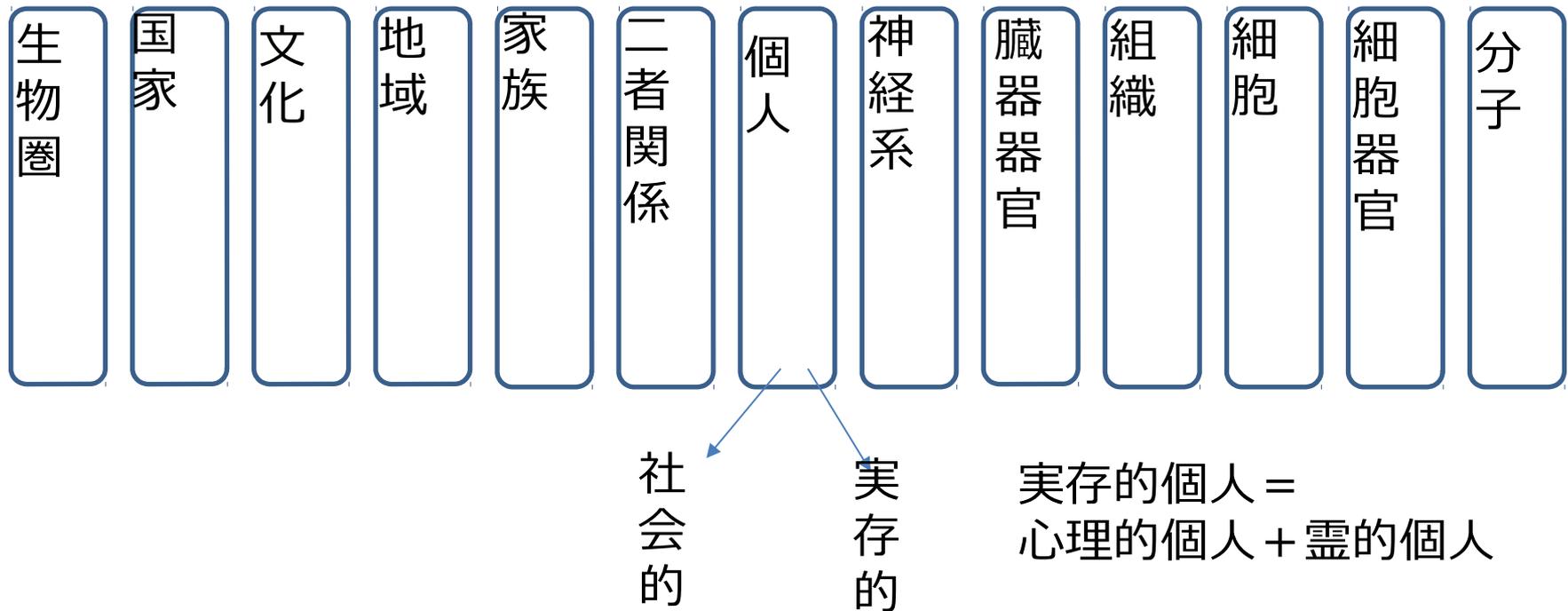
心理・社会面は
置き去りに...

エンゲル 生物心理社会モデル(1977年)

- ・ 精神科医であるジョージ・エンゲルが提唱
- ・ 生物医学 (Biomedicine) モデルになり代わる、新しい医学観

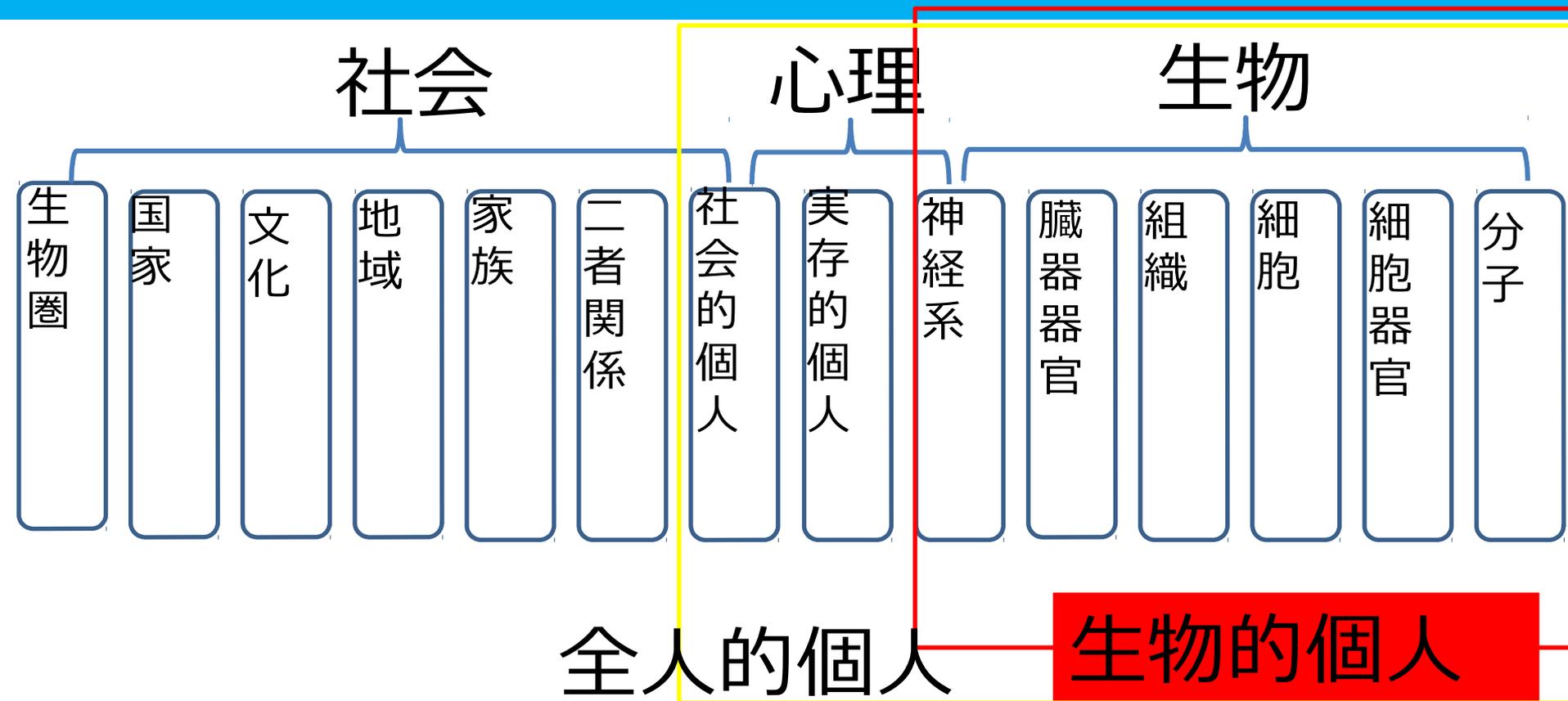
(The Need for a New Medical Model: A Challenge for Biomedicine, Science, New Series, Vol. 196, No. 4286 (Apr. 8, 1977), 129-136.)

エンゲルの階層モデル



エンゲルの階層モデルで使用された“個人”を
“実存的個人”と“社会的個人”に分けると理解がしやすいのでは？
(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎)

エンゲルの階層モデル



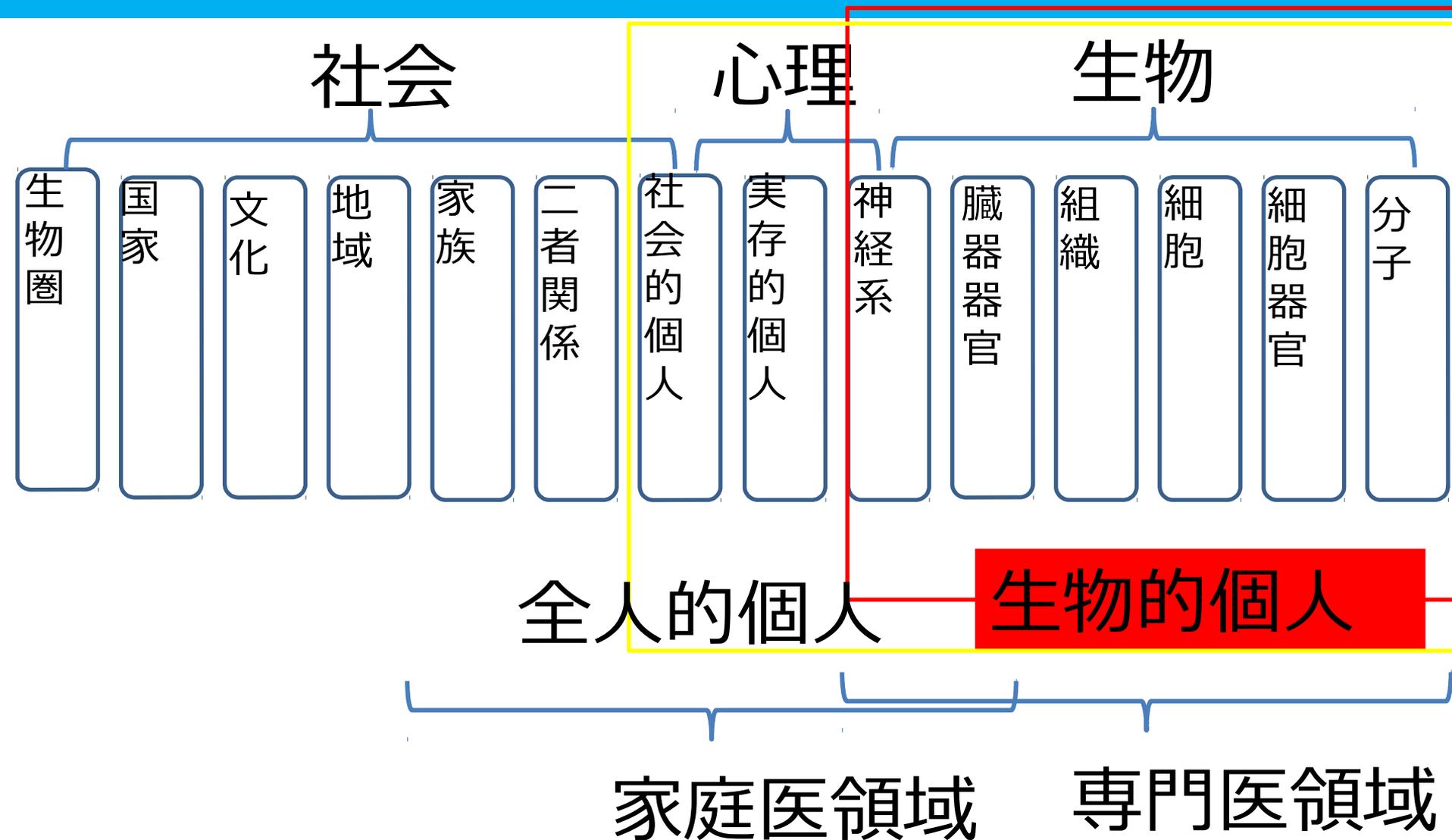
それぞれを“システム”と呼ぶ

小さな“システム”が階層をなし、“相互作用”、“円環作用”を形成

°

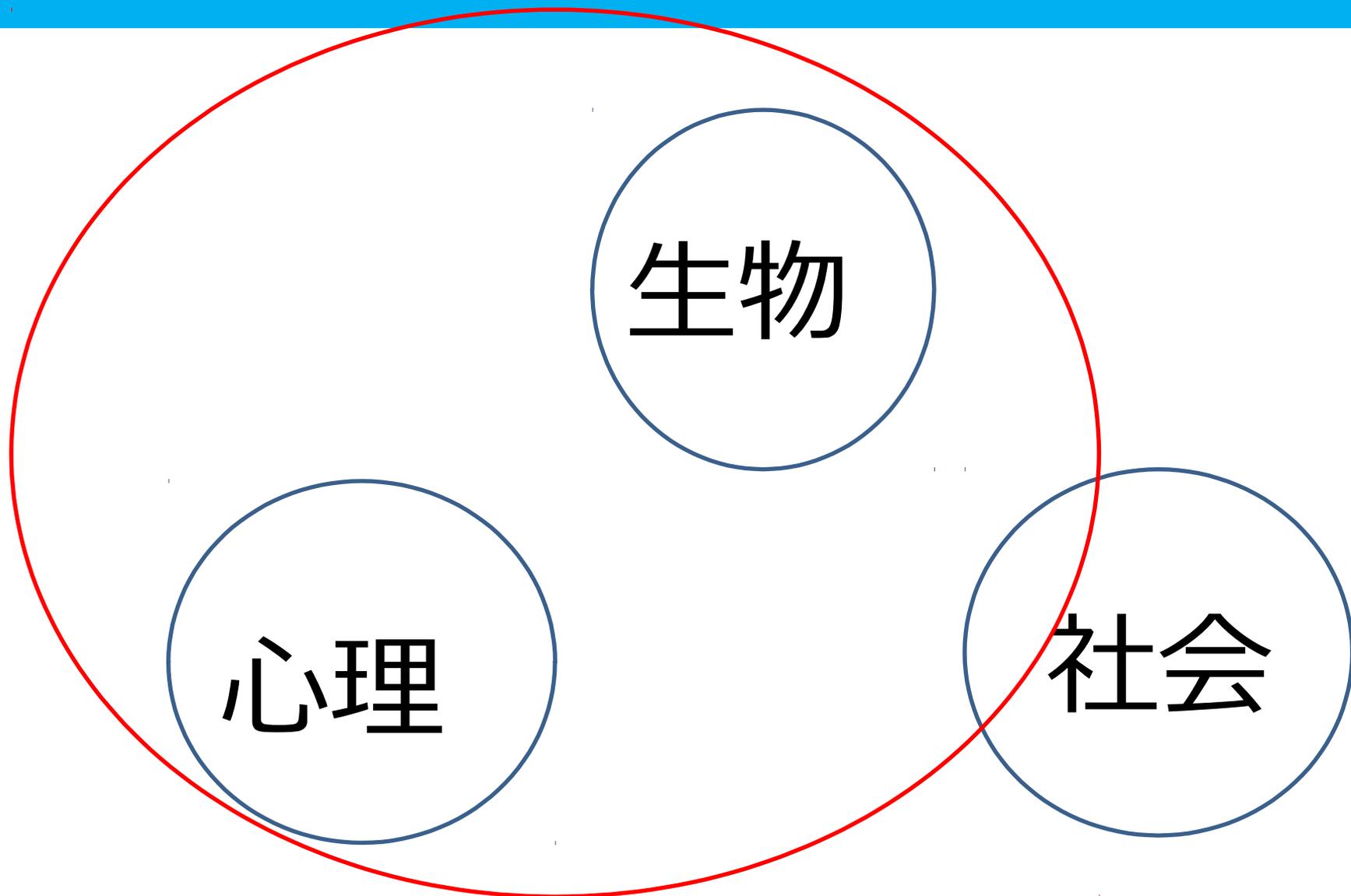
(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎)

エンゲルの階層モデル



(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎)

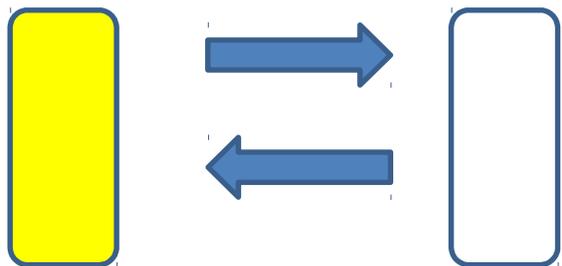
全人的個人 ってこんな風に表現できます



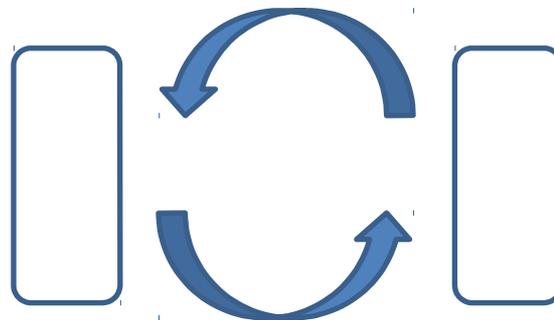
(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎)

相互作用と円環作用

相互作用



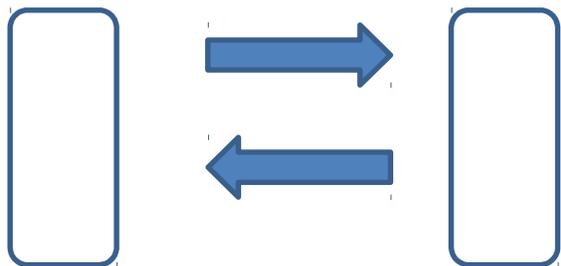
円環作用



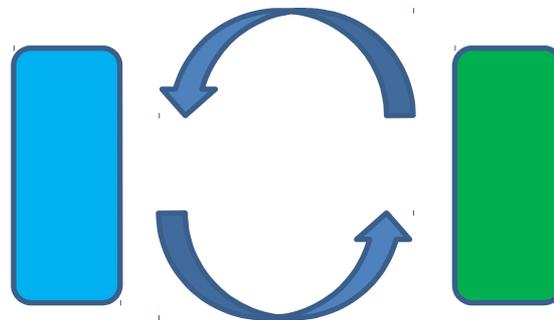
エンゲルの階層モデルでは、小さな“システム”が階層をなし、“相互作用”、“円環作用”を形成

相互作用と円環作用

相互作用

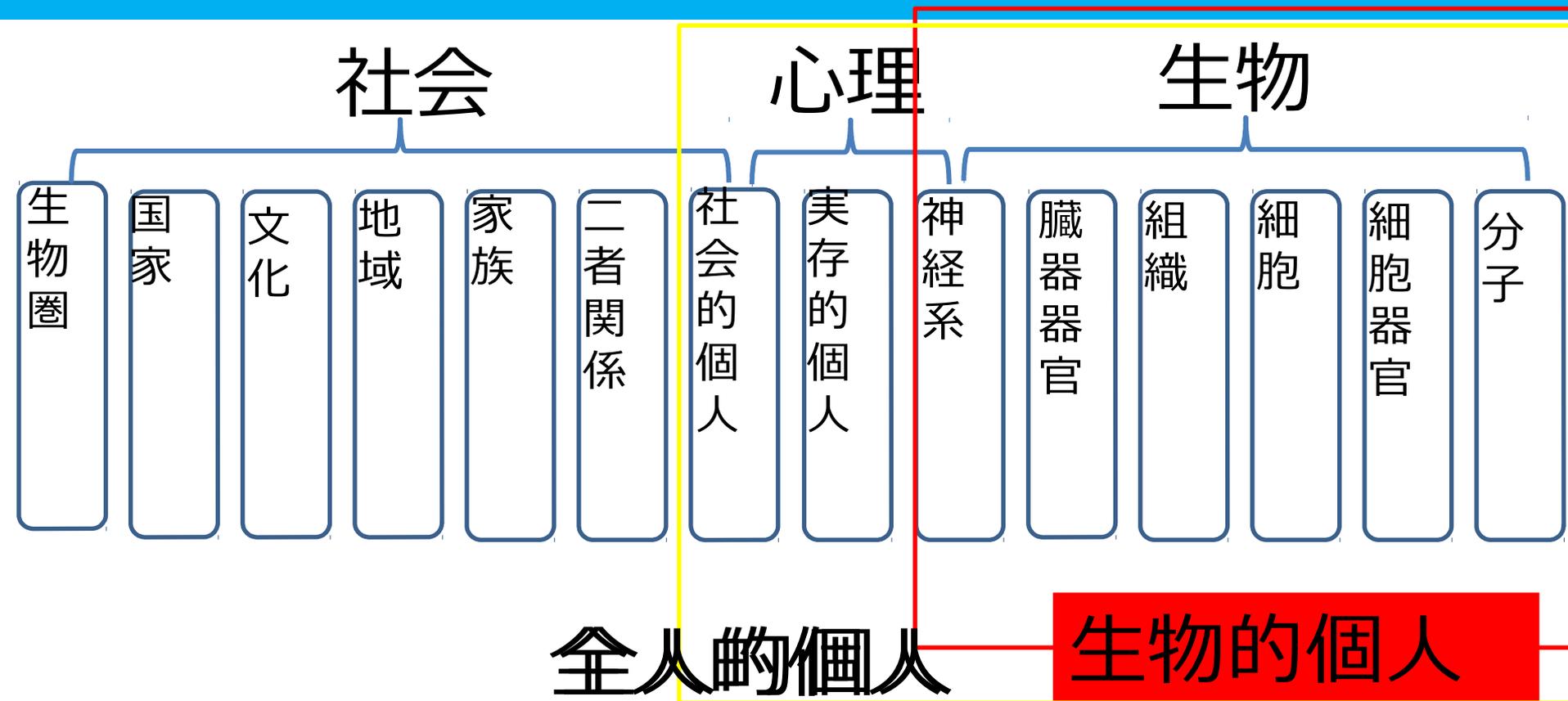


円環作用



エンゲルの階層モデルでは、小さな“システム”が階層をなし、“相互作用”、“円環作用”を形成

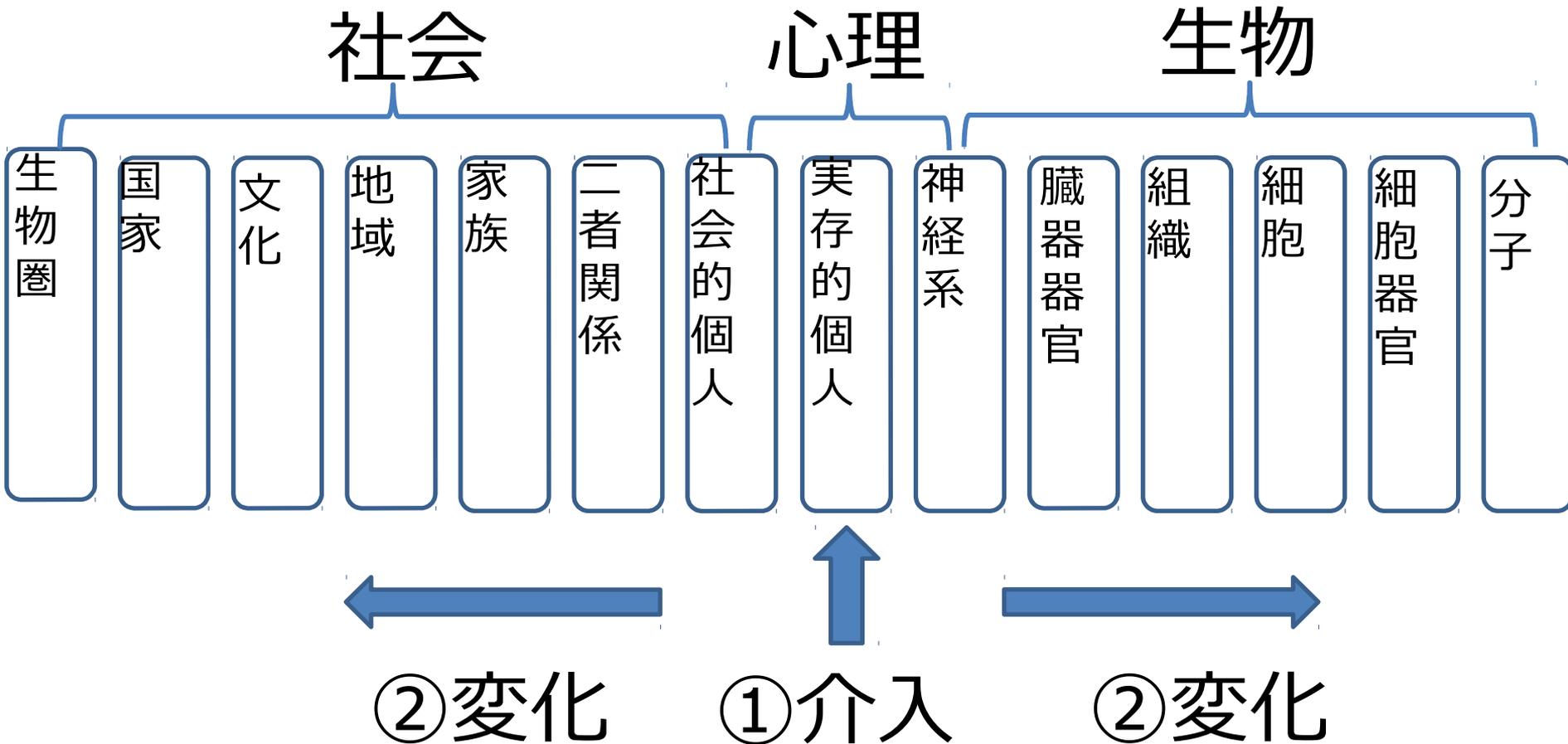
エンゲルの階層モデル



“システム”がどのように作用しあうか

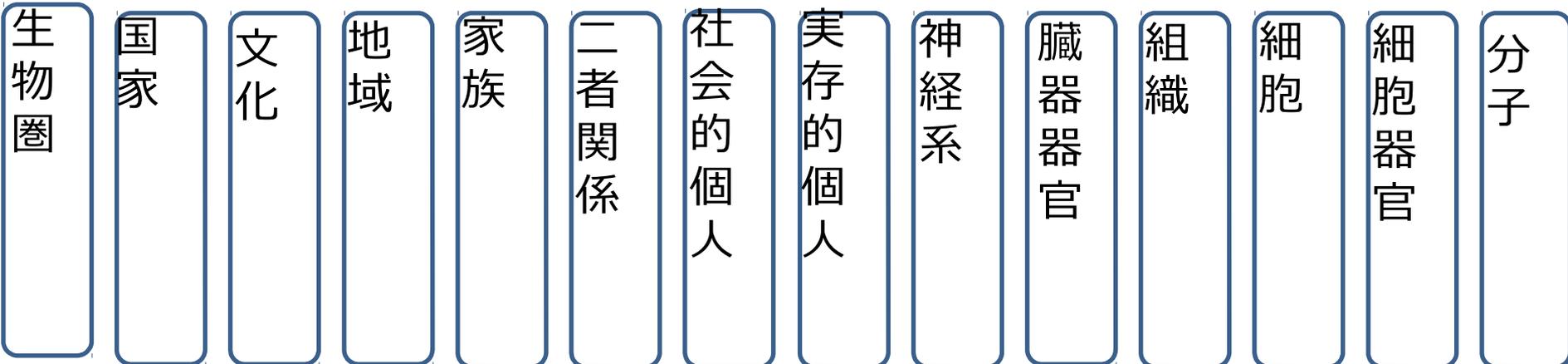
(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎)

エンゲルの階層モデル

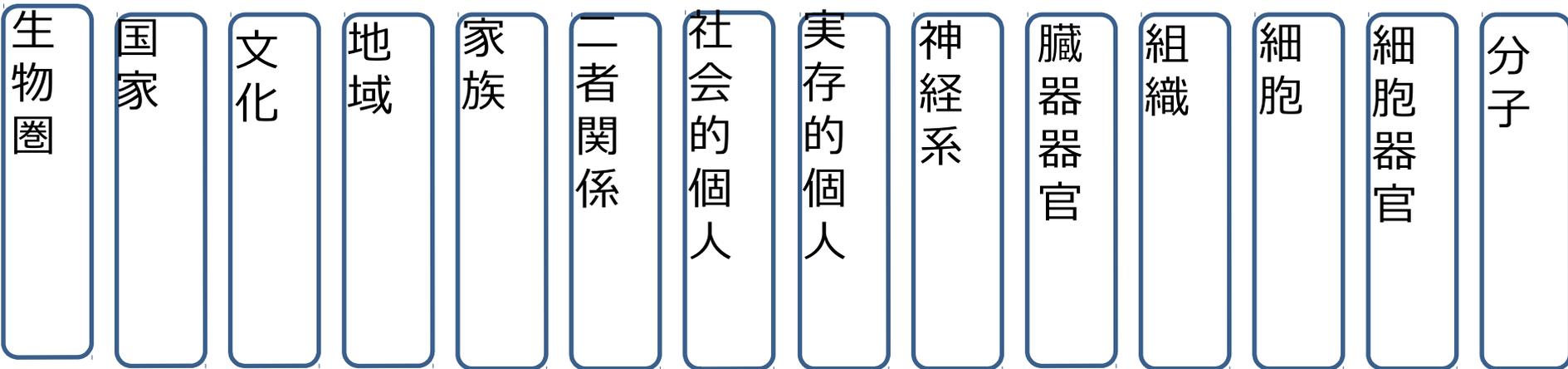


一つのシステムに介入することで隣のシステムにも変化が起きます

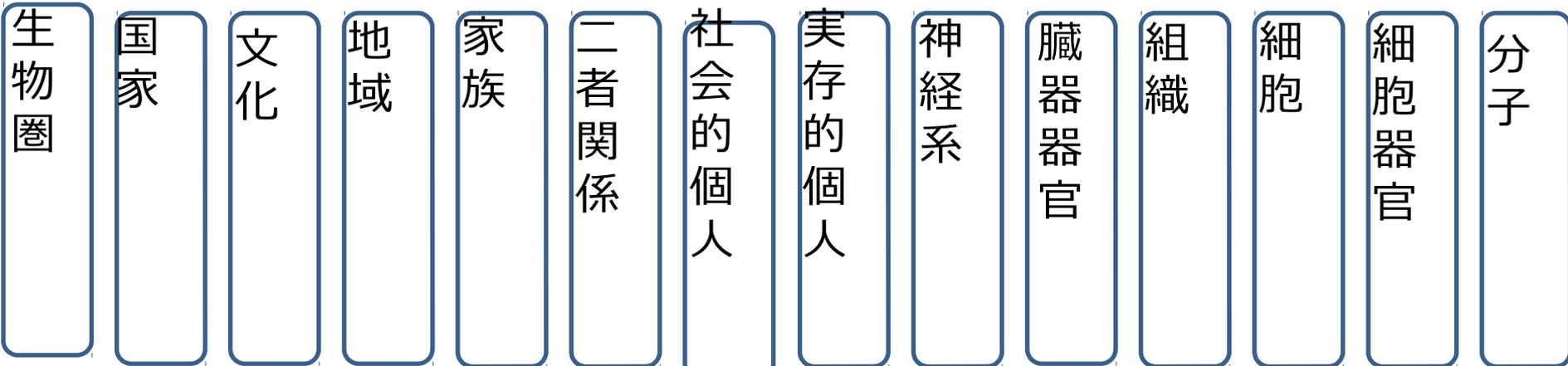
エンゲルの階層モデル (家族)



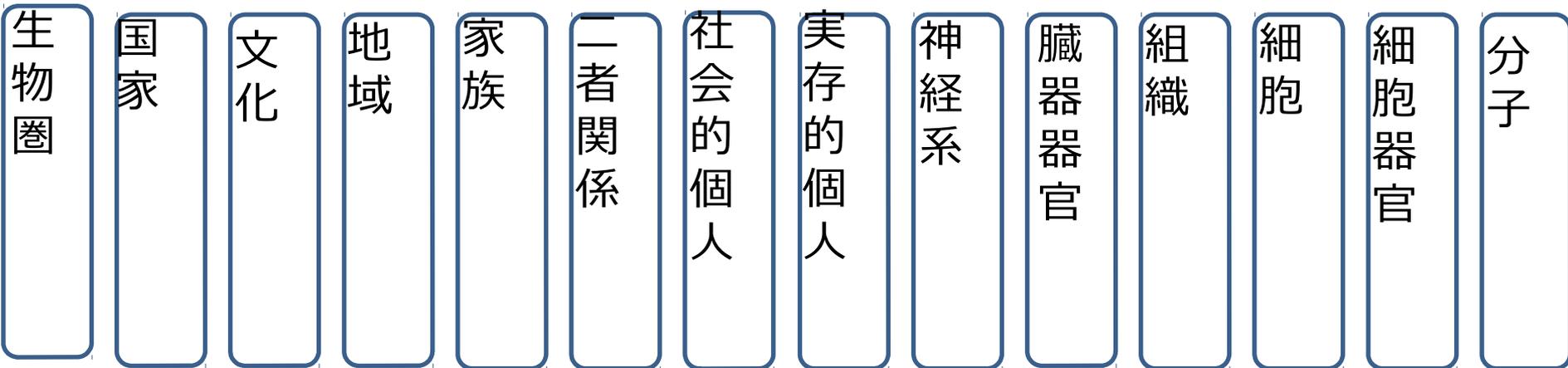
介入



エンゲルの階層モデル (医師)

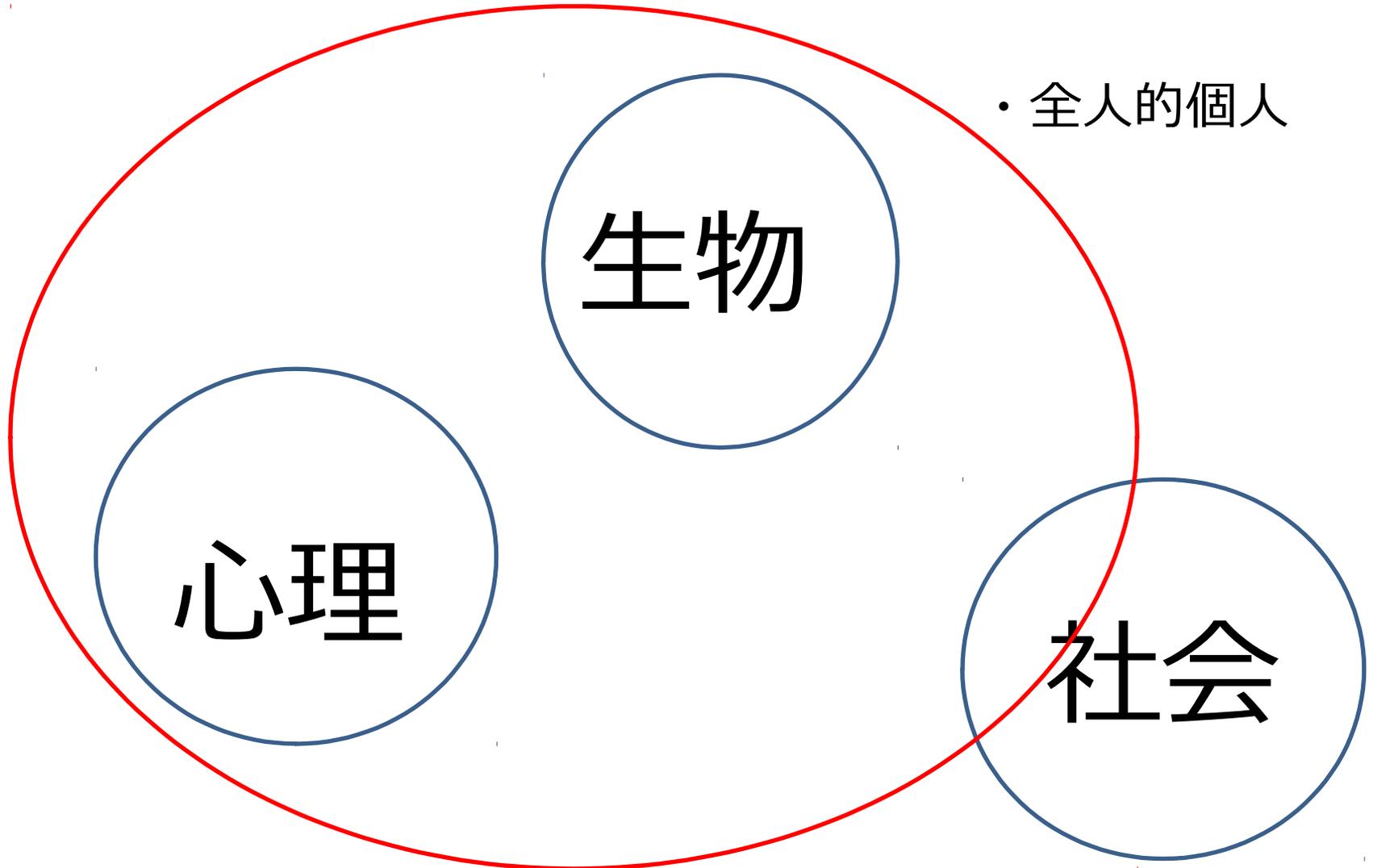


介入



誰が介入すべきか？

・全人的個人



(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎)

誰が介入すべきか？

- ・ カウンセリング
- ・ コーチング
- ・ 宗教家
- ・ 自己啓発

生物

- ・ フィットネス
インストラクター
- ・ 栄養士

心理

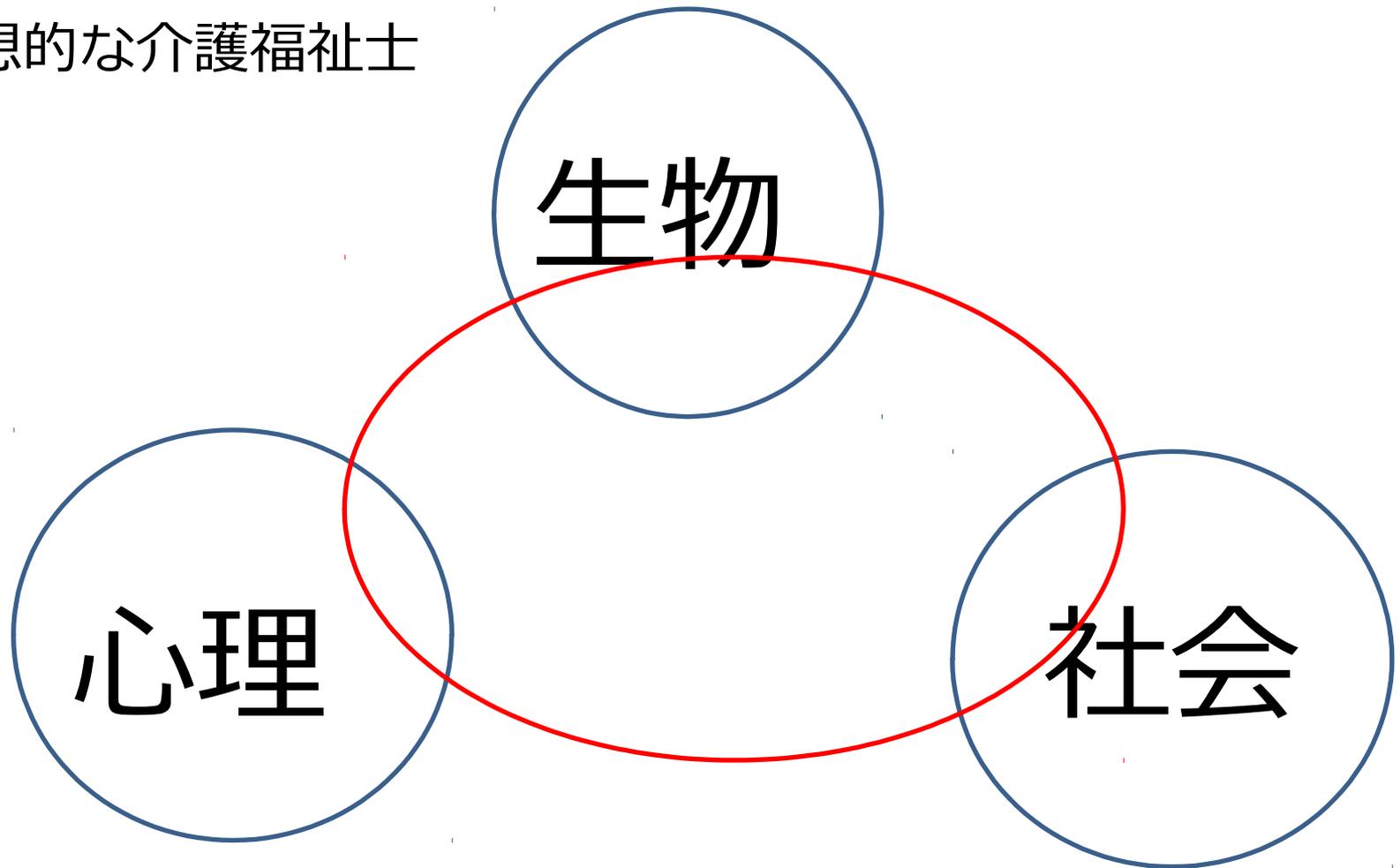
- ・ 法律家
- ・ 各種コンサル
- ・ 教師

社会

(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」飯島慶郎)

誰が介入すべきか？

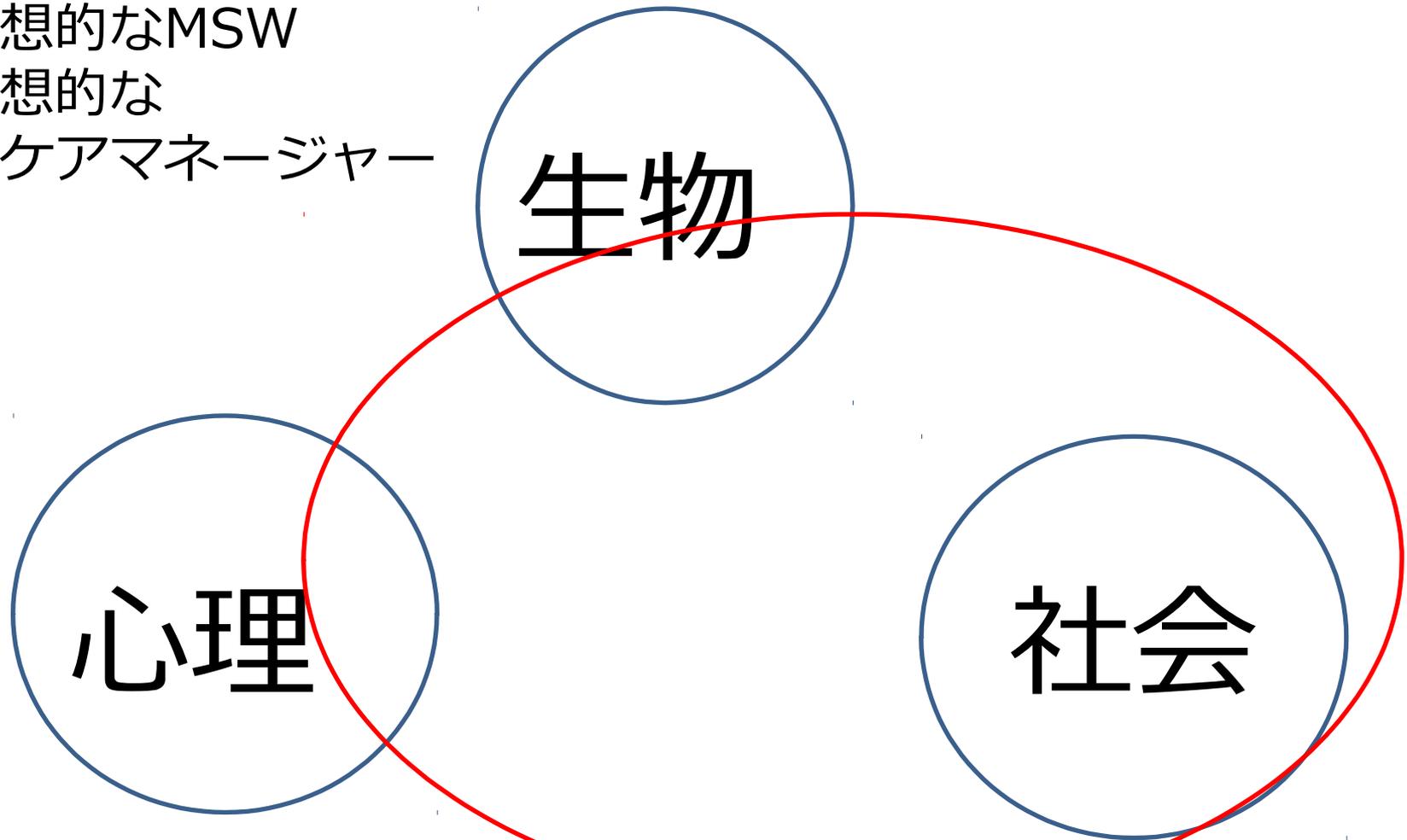
- ・理想的な介護福祉士



(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎)

誰が介入すべきか？

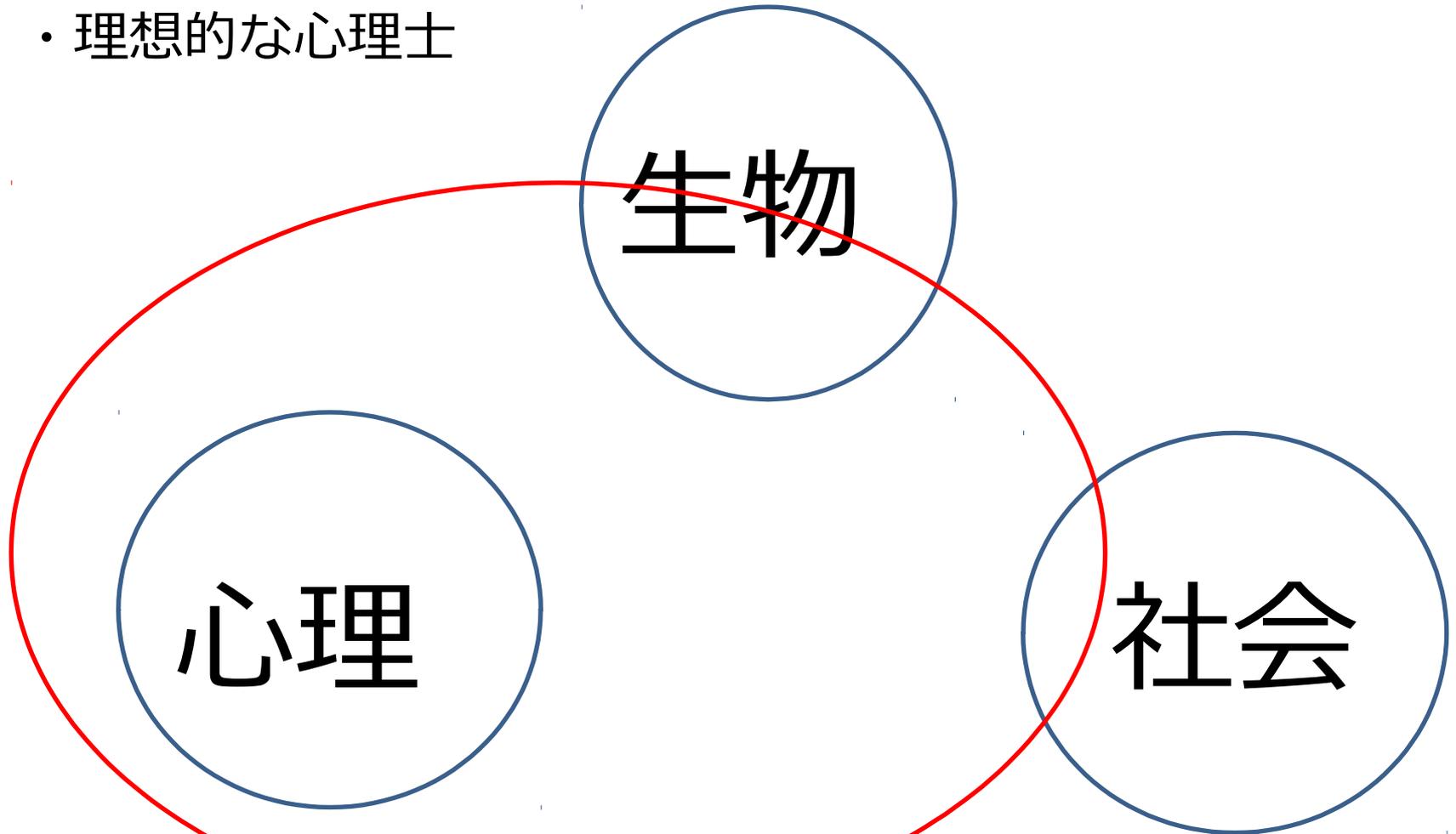
- 理想的なMSW
- 理想的な
ケアマネージャー



(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎)

誰が介入すべきか？

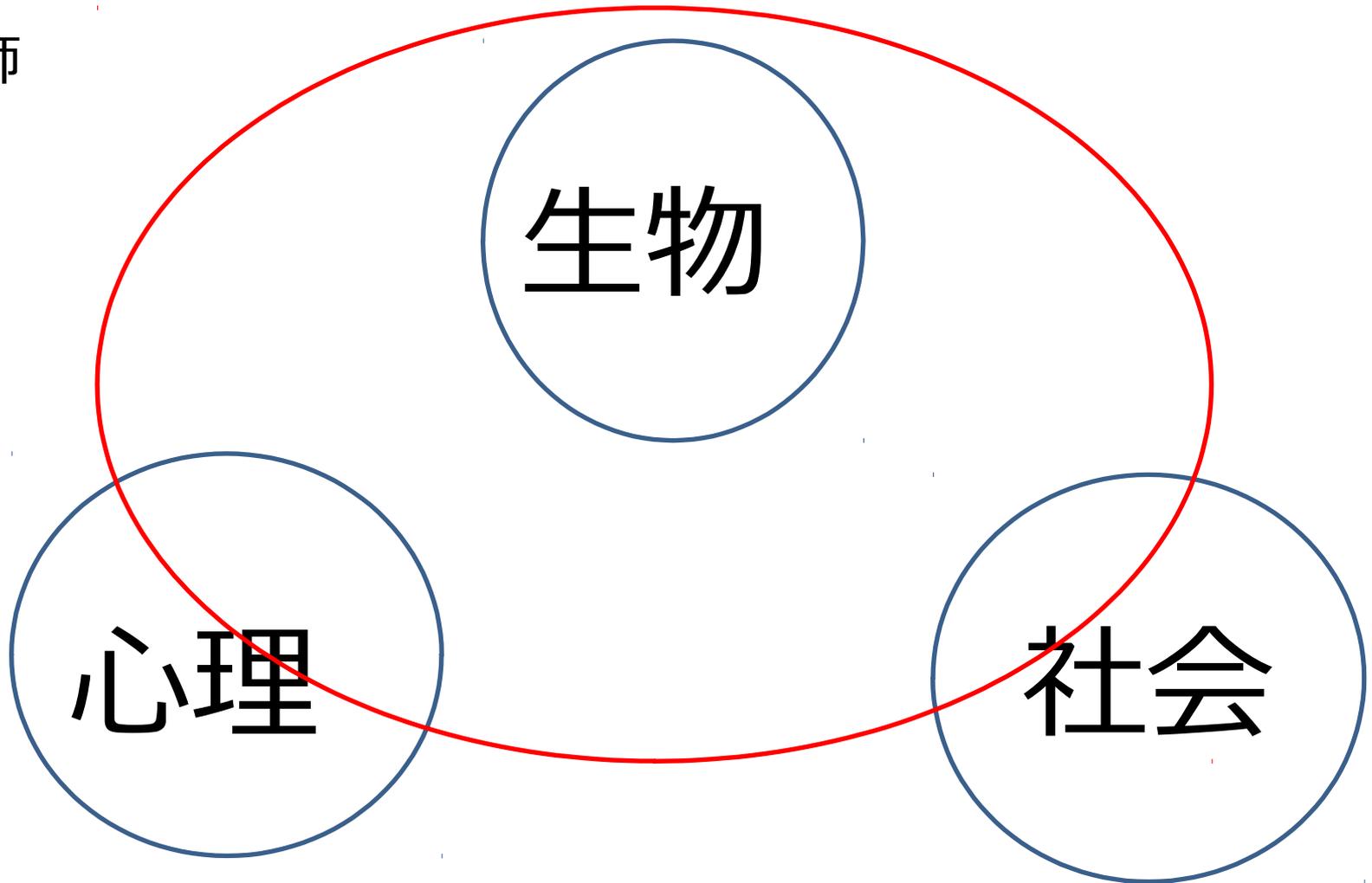
- ・理想的な心理士



(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎)

医師が介入すべきか？

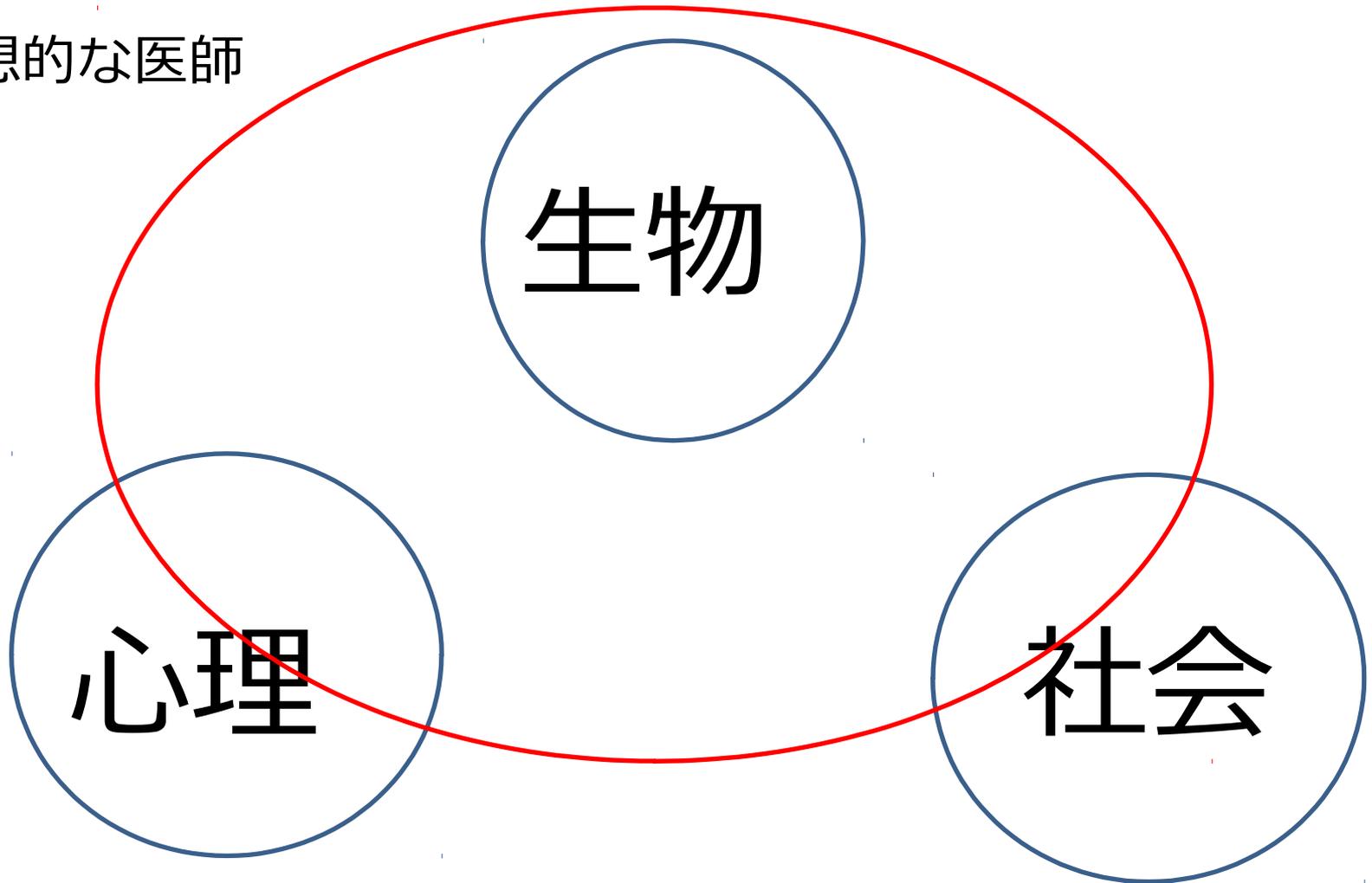
- ・ 医師



(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎)

医師が介入すべきか？

- ・理想的な医師



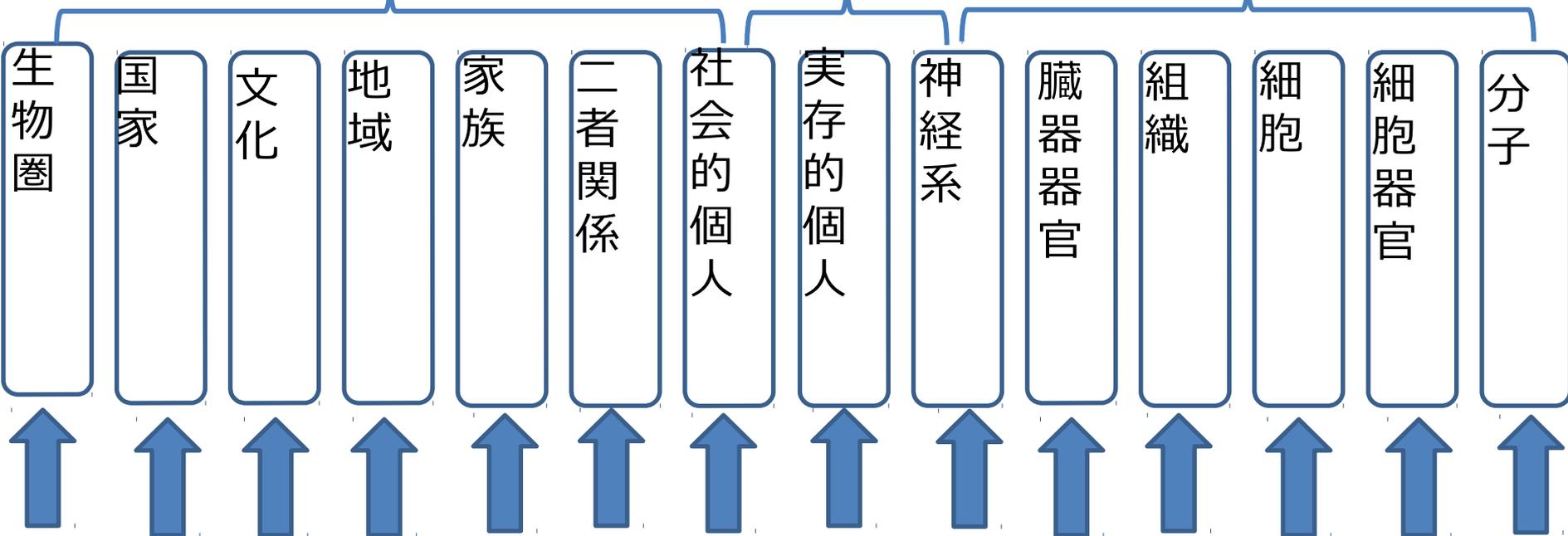
(全人的医療とは何か 対人援助のための「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎)

エンゲルの階層モデル

社会

心理

生物



自分でできる介入
専門家による介入

例題 84歳 女性

[現病歴]

30年前に糖尿病指摘され、インスリン注射を使用し、当院通院中。

昨日より発熱、呼吸苦あり、本日救急搬送され、誤嚥性肺炎と診断。

昨年夫が他界し現在独居。もともとのADLは、何とか自立しており、介護保険の利用無し。

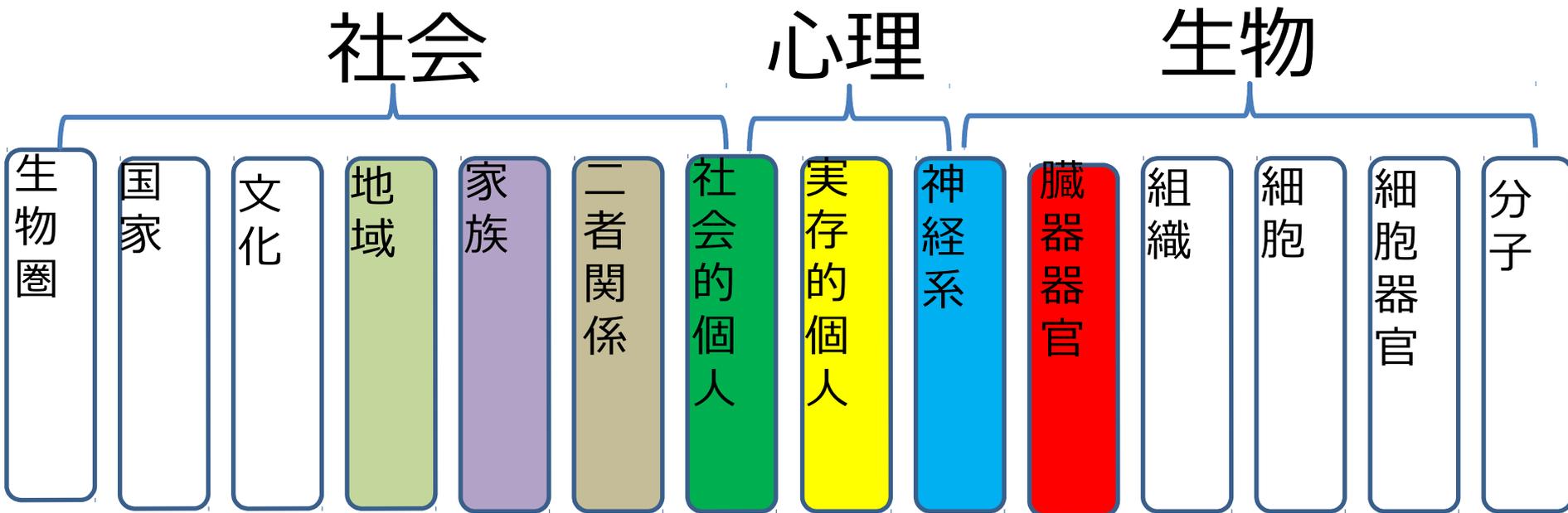
付き添いの遠方の娘からは、“最近昔のように家から外出することがなくなった”と。

BPSアプローチ

ロチェスター大学のグループの提案（2003）

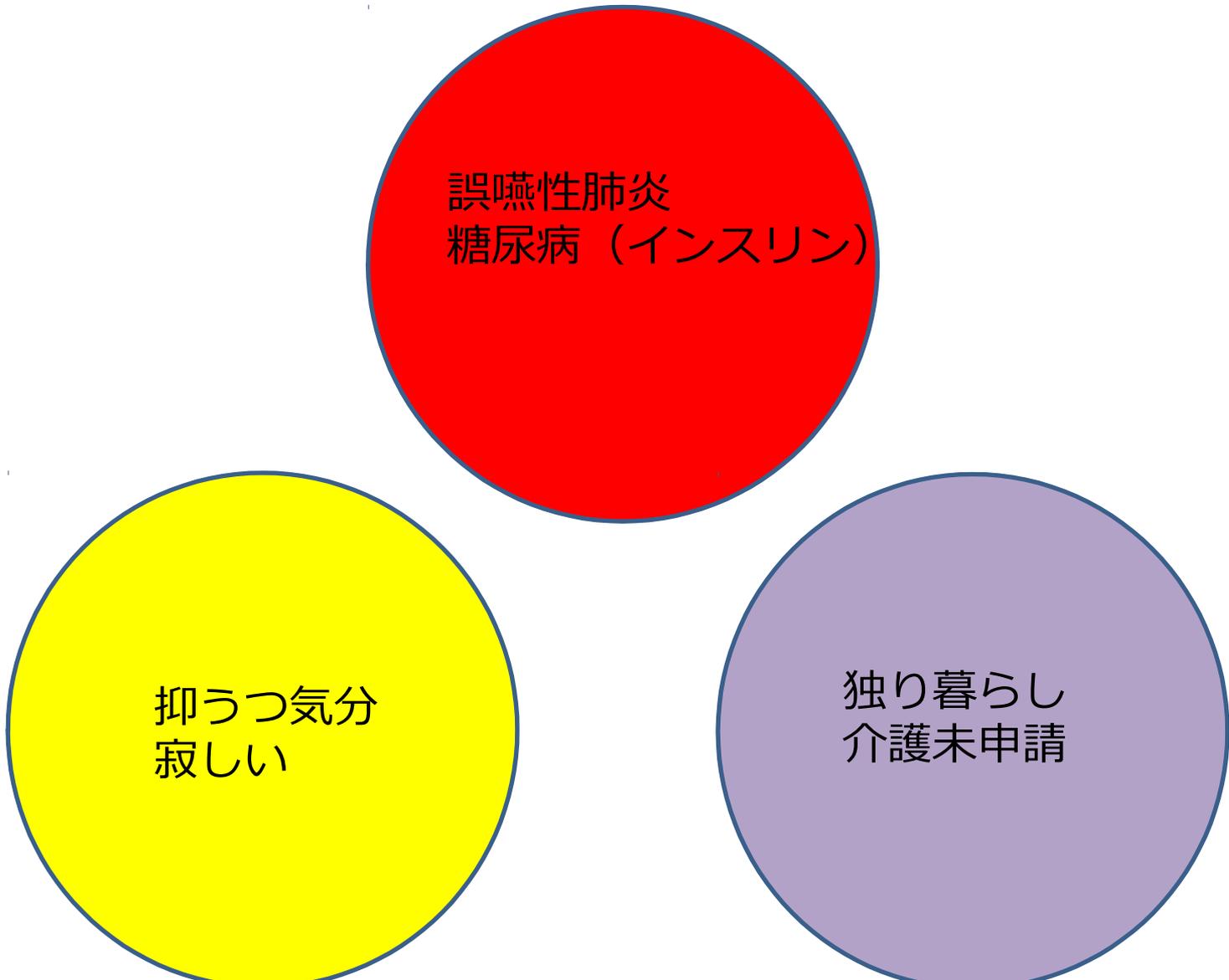
- ①患者の物語と生活環境を聴取
- ②生物・心理・社会の領域を統合する
- ③ケアを提供において関係性が中心であることを認識する
- ④自分（医師）を知る
- ⑤どの臨床モデルに焦点を当てるか
- ⑥多面的な治療を提供する

①患者の物語と生活環境を聴取



患者中心の医療を実践し、
患者の心理、社会面までを含めた聴取

BPS model



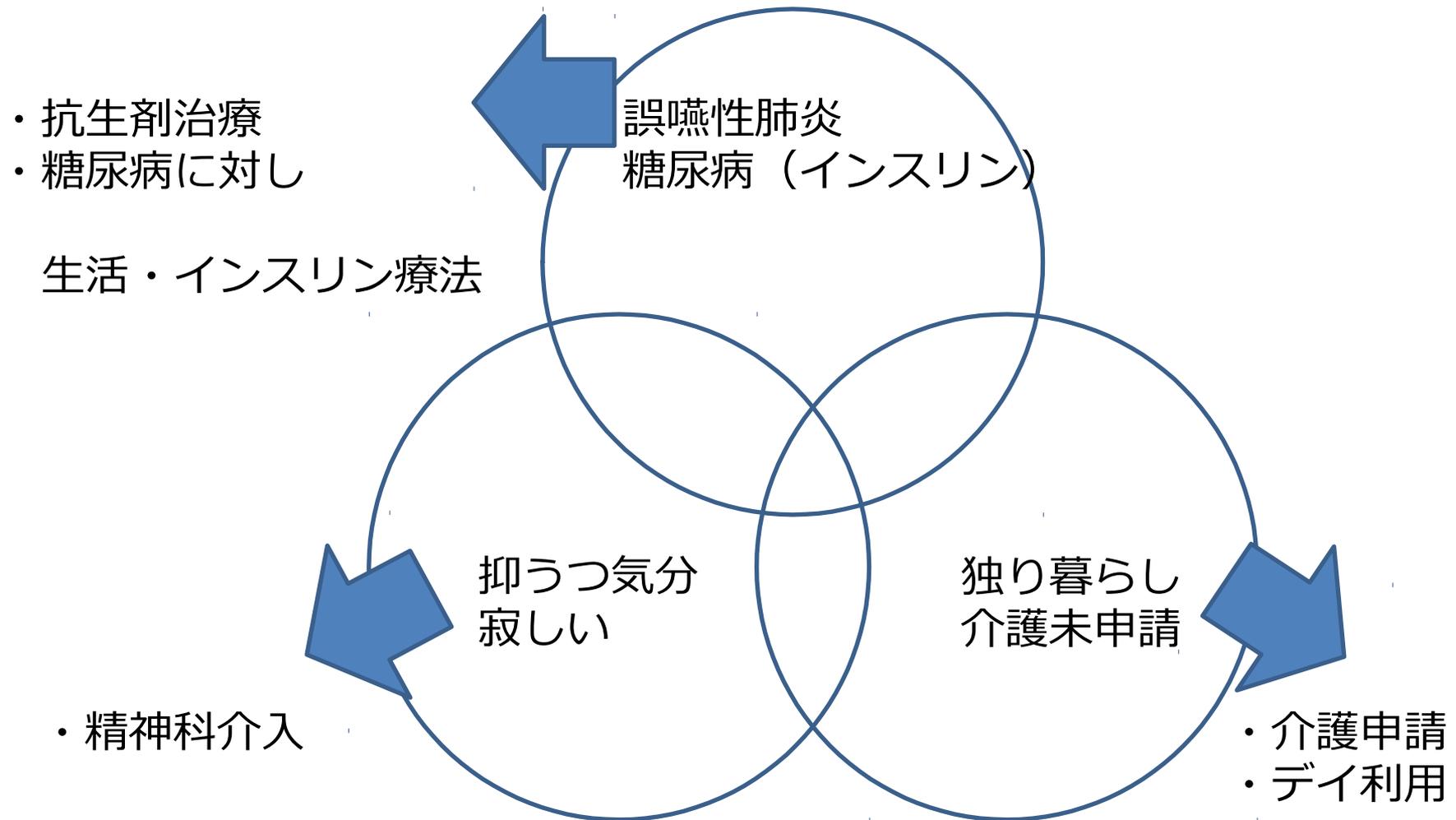
誤嚥性肺炎
糖尿病（インスリン）

抑うつ気分
寂しい

独り暮らし
介護未申請

BPS model

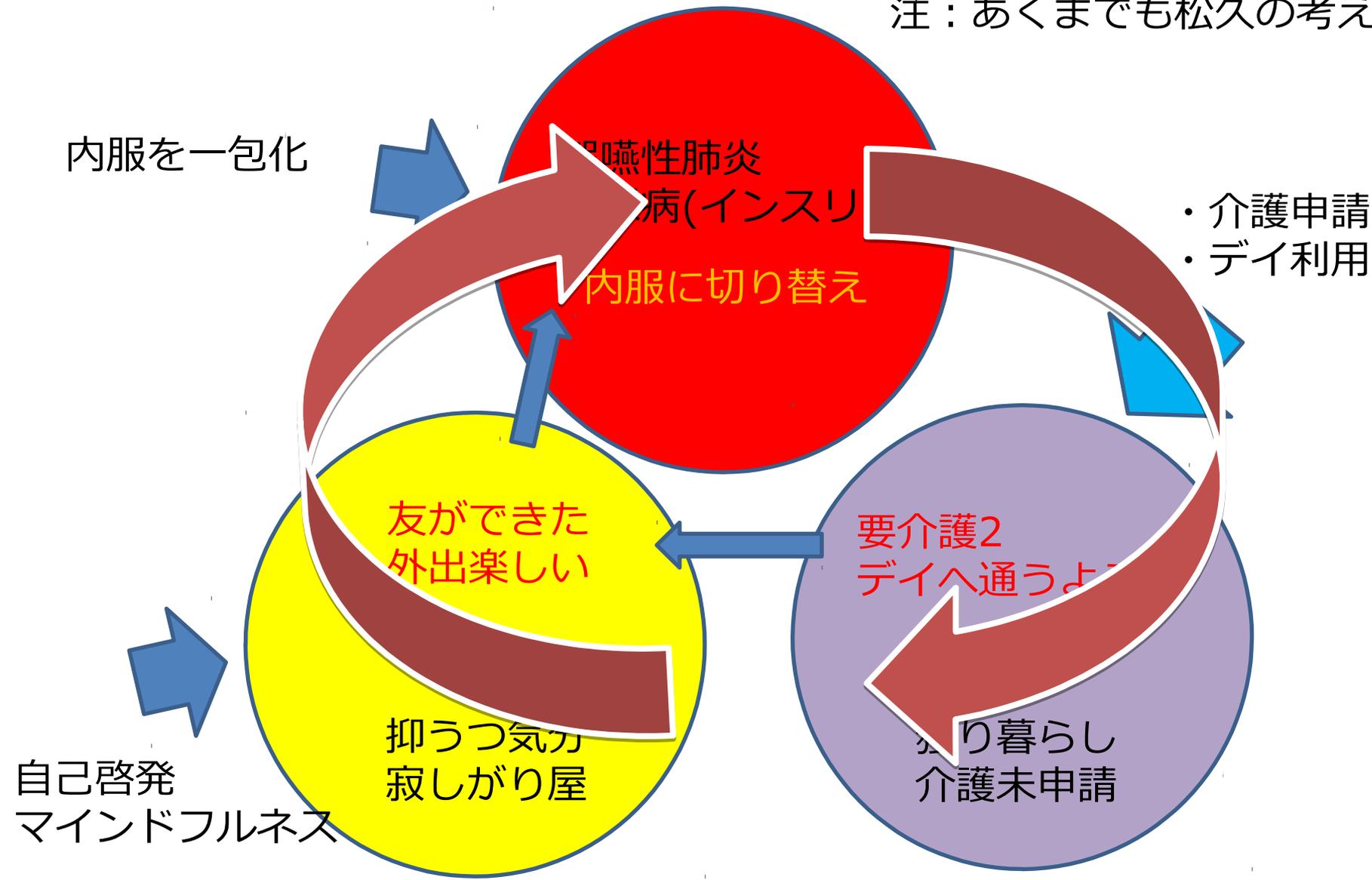
~よくあるポートフォリオ~



BPS model

~いいと思われるポートフォリオ~

注：あくまでも松久の考えです



BPS model

～いいと思われるポートフォリオ～

注：あくまでも松久の考えです

独り暮らし
介護未申請

内服を一包化

誤嚥性肺炎
糖尿病(インスリン)

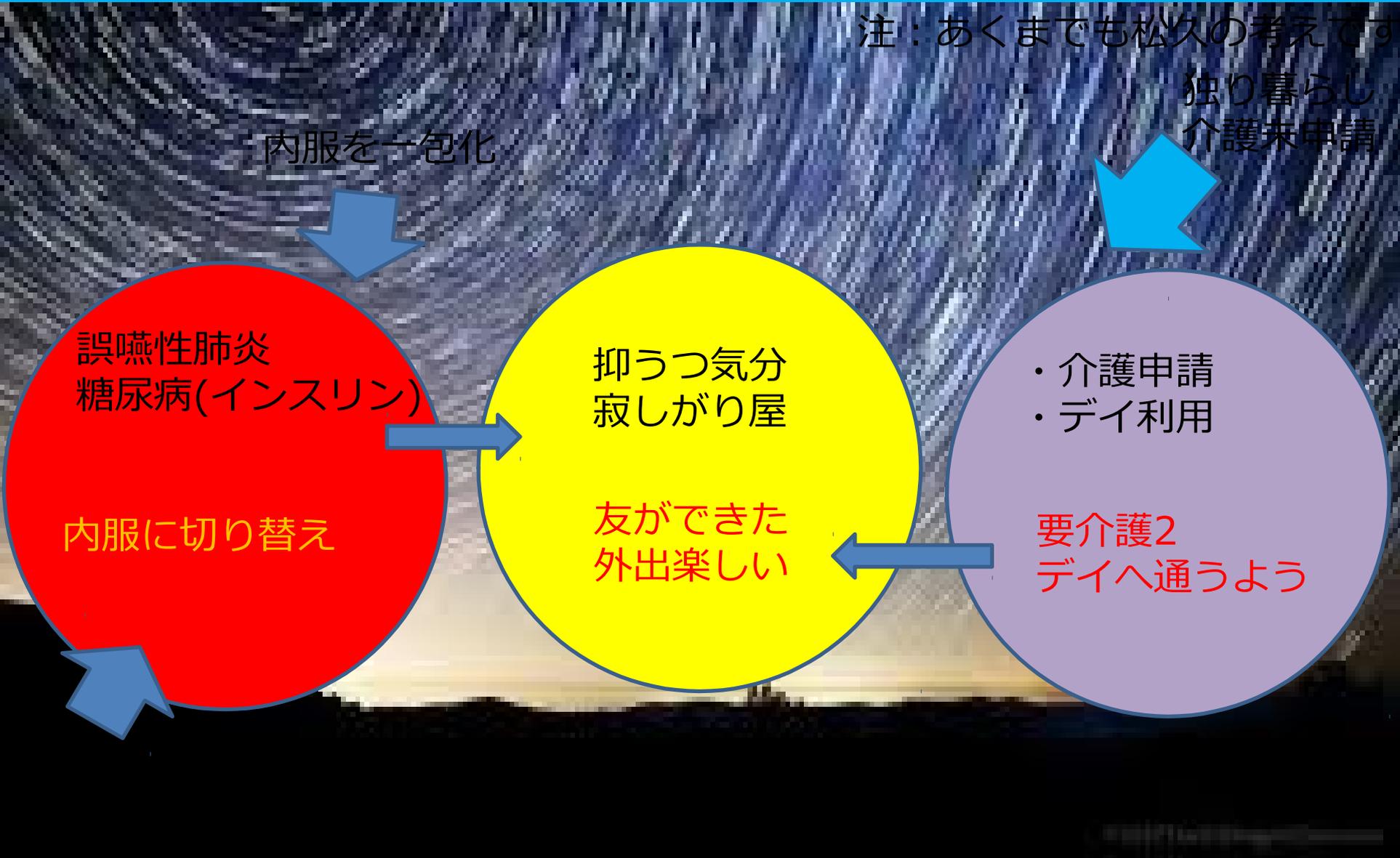
内服に切り替え

抑うつ気分
寂しがり屋

友ができた
外出楽しい

- ・介護申請
- ・デイ利用

要介護2
デイへ通うよう



「全体は部分の総和とは異なる」

ループリック

☆優

生物医学的だけでなく、心理社会的にも複雑かつ困難な事例において、包括的な情報収集、統合的な評価、方針決定を行う

☆ボーダーライン

生物心理社会的な情報収集がなされ、これらの情報を統合的に評価した上で、方針が決定されている

☆基準未到達

生物心理社会的な情報が不十分、統合的な評価が不適切、といった問題がみられる

複雑かつ困難な症例とは？

①医学的複雑性が高い場合

併存疾患の存在 慢性疼痛 薬剤による副作用 説明できない症状
認知機能低下

②社会経済的要因が医学的問題を悪化させている場合

薬を処方できない、移動手段がない、家族内にストレッサーがある、ヘルスリテラシーが低い

③精神疾患が医学的問題を悪化させている場合

うつ病のために服薬アドヒアランスが低下
依存症 不安が臨床像を修飾している

④患者の行動と資質に問題がある場合

検査や処方に対する要求が多い スタッフや医師と議論したがる
症状に対する不安が大きい。

複雑性による分類

① simple problems

プロトコールに沿って対応できる問題

例：二型糖尿病患者に最も効果のある治療薬を選択する

② complicated problems

いくつかのsimpleな問題の組み合わせだが、相互作用があり
明確なプロトコールが存在しない問題

例：2型糖尿病、高血圧、狭心症、骨粗鬆症、うつ病を
持つ患者に対し、最も費用対効果の高い治療を選択する

複雑性による分類

③complex problems

complicatedな問題に個別性の高い要因（心理社会的な要因）などが加わり、予測や一般化が困難な問題

例：2型糖尿病、高血圧、狭心症、うつ病を持ち、複雑な家族問題を抱える患者に対し介入を行う

④chaos

問題群がコントロール不可能な問題を多く含み、それらが無秩序にからみあっている

例：2型糖尿病、高血圧、狭心症、うつ病を持ち、複雑な家族問題および経済的問題を抱えるアルコール依存症患者に対し介入を模索する。

参考文献

全人的医療とは何か 対人援助のための
「生物・心理・社会モデル」 飯島慶郎
ACCELコアレクチャー(2017.1.17)近藤猛

